

2026年5月7日

各 位

会社名 わかもと製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 平井友行
(コード:4512 東証スタンダード)
問合せ先 広報室長 高野浩一
(TEL:03-3279-0371)

硝子体手術時の硝子体可視化剤「マキュエイド眼注用 40 mg」中国での発売開始のお知らせ

わかもと製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 平井 友行、以下「わかもと製薬」）は、マキュエイド眼注用 40 mg（中国販売名：眼内注射用曲安奈德）を、硝子体手術時の硝子体可視化剤として、2026年5月から中国で発売を開始したことをお知らせいたします。中国における販売は、当社が指定する中国国内の企業法人である Shenzhen Rosso Pharmaceutical Co., Ltd. が実施いたします。

マキュエイドは中国で硝子体手術時の硝子体可視化の適応を取得した初めての医薬品となります。中国では網膜硝子体手術を受ける患者数は増加しており、今後も網膜硝子体手術の増加が予想されております¹⁾。

当社は、中国においてより多くの医師・医療機関に本剤をお届けすることで、手術の質の向上を通して患者様により高い QOL（クオリティ・オブ・ライフ）をご提供できるように努めてまいります。

マキュエイド眼注用 40mg について

マキュエイドは、合成副腎皮質ホルモンであるトリアムシノロンアセトニドを有効成分とした、眼科用にわかもと製薬が開発した医薬品です。日本ではこれまでに、硝子体手術時の硝子体可視化（硝子体内投与）、糖尿病黄斑浮腫（硝子体内投与）の治療、糖尿病黄斑浮腫／網膜静脈閉塞症／非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫の軽減（テノン嚢下投与）においてその有用性が認められています。また、海外においては、韓国にて導出先の企業が販売しています。

Shenzhen Rosso Pharmaceutical Co., Ltd. について

Shenzhen Rosso Pharmaceutical Co., Ltd.（深圳羅素医药有限公司）は、香港 Rosso Investments Limited（Rosso グループ）の子会社であり、中国における医薬品事業の中核を担っています。同社は、小児科や泌尿器科などの領域に注力し、医薬品の導入・販売および学術活動を展開していますが、本剤を契機に眼科領域の基盤強化、活動にも注力しています。

硝子体手術について

硝子体は通常ゲル状の組織ですが、加齢とともに液化していき、50～60歳で硝子体ゲルが虚脱し、後部硝子体剥離が発生することにより硝子体が網膜を牽引し、網膜剥離や裂孔などを生じることがあります。また、硝子体内の炎症細胞やさまざまなサイトカイン、増殖因子が網膜新生血管や黄斑浮腫を助長していると考えられており、硝子体手術はこれらの原因を取り除く目的で行なわれます。

手術によって除去される硝子体は、眼球内部に存在する透明なゲル状の組織のため、目視での硝子体の判別は困難です。網膜を傷付けることなく残存硝子体を除去するために、後部硝子体に白色の粉体であるマキュエイドを吹き付け、硝子体を白色に染色し視認性を向上させることで、後部硝子体剥離、内境界膜剥離や周辺部硝子体切除を安全に、正確に、また速やかに行なうことができるようになります。

<参考資料>

- 1) Chin-Ling Tsai, Baoyi Liu, Yaping Liu, et al. Trends and Future Projections of Vitreoretinal Surgery in a Tertiary Hospital in China (2005–2022). Clin Ophthalmol. 2025;19 2363-2371.

以上